候補地別評価表 (事前評価)

						TH JU DU		✓Ш₩₽₽₽₽			
	評価項目	着目する内容		評価	候補地①	候補地②	候補地③	候補地④	候補地⑤	候補地⑥	候補地⑦
March Marc		内台		★무 Λ		0		^			
March 1997 1997											
### #### ############################						Δ					0
# 1						_		0		Δ	
Part					Δ	0					
# 19		広域幹線道								Δ	0
1970 1970	1. 利		証価結甲			0	©				
	便性 (交通	路、公共交通	一一一一	委員G	0				Δ		0
	アクセ	等へのアクセスも市民音点				0	0				
	ス・市 民音	などから評価							\wedge		
변변	向)	を行う									
Total								٨			
1987 1985											
1995				安貝L	 ● 候補地分け都市計画道路			0			
1995			_	1.7.7.1	駅からの近さを評価した	。学生やシニア層の利用を	高めることが重要				
The control of th			_		・ 候補地の中で候補地(3)は ・ 広域道路は評価しない。	交通の利便性が高くアクセ) 市民意向の細分化は機械的	スか最も艮い。 では、JRまでの距離とアク [。]	ヤス性に重点を置いた。			
### 20										T 0	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##					Δ						
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##									0		
변경 등 기원 등 기					Δ						
지										0	
### 2015				委員E	0					Δ	0
### 2015	0 12	土地形状、接	=m /	委員F	0					0	0
### 2015	∠. 医 補地の	道状況、一団で破化できる	部価結果						0		
### 2015	有効性	で確保できる 土地の規模な どから評価を 行う						+		\cap	
### 2015	(上地 条件)							+	\cap		
					^				<u> </u>		
										1	
				委員L		た証価したが 動地にぬ土	┃ りげ正方むでもで心悪けた!		O		<u> </u>
			_	メント	* 接 ・	で評価したか、敷地に納まれ 良く拡張余地もある。	いみ止力形 じめる必要はない	l _o			
변환			_	ハンド	・拡張性にポイントを、次	に接道状況に重きを置いた。	。形状も土地利用計画上重要	要な視点である。			
변환		辺への自然、 住環境への影響、敷地の災害危険性、景 観との調和などから評価を		委員A				0	©	Δ	
### 1985 전							\cap			-	<u> </u>
# 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10					1						
			評価結果			۸	Δ				+
지						Δ					
### 2000 전								U			_
### 1	3 周					0			<u> </u>		
중에	辺環境への適応性				Δ					0	O
중에				委員H						Δ	
### 2000				委員		0			0	Δ	
				委員J		Δ				0	
								Δ			
28 29 一個			_		・浸水や地震に対する安全	」 性を評価した。屋内体育館を	 なのでそれ程住環境にマイブ	ナス影響はないと考える。			
변경 등			_	メント	・地震、浸水の視点は重要	だが、いずれの候補地も大利	差ない。周辺住環境への影響	響が今後の事業進捗に影響する	00		
변경 등				委員A		Δ	0			0	
### ### ### #### ####################									^		
# 변수								0			
						\cap			Δ		
####################################								Δ			
### 2000 전	4. 事										
(2017年	業遂行	法的手続き、	評価結果			Δ	0			O	
	か円滑	土地取得の容易性、周辺施設との連携な			Δ				0		0
	地条			委員H		Δ					
安良	半、特別来的な	こから評価を		委員		Δ	0			0	
東京K ② △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	発展性	139		委員J		Δ	0			0	
本典				委員K			0	Δ		0	
・						0					
					・候補地⑥は遺跡との関係	で評価				1	1
변화 등 보고 변화			=	メント	・コンパクトシティを目指 ・候補他③は 地焼き粉が	すことが望ましい。地権者 3人で最も少ない。 キケード	数が少ないほど望ましい。 F隣に最もの共施設が多い				
변화 등 보고 변화					・地権者数は大事だが、こ	した。これのシスクで、みた、別れだけでは情報不足。連携が	施設に病院を入れているが、	この意図は。			
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		土地取得及び 整地工事費用 などから評価 を行う	評価結果	委員A					<u> </u>		Δ
5. 本 協力性 (土土 原本性 (土土 (土土 (土土 (土土 (土土 (土土 (土土 (土土 (土土 (土											
									Δ	0	
					\cap						^
# 1											
####################################										1	
受員						^	<u></u> ⊎				
受員					<u> </u>						
受員								Δ		-	-
受員						Δ					
接負し ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○											
Tメント ・大きな差であると考える。 未利用であった公有地の活用を図ることは大きなポイントである。 ・候補地別は内は地質的多い。 ・機構地別外は、単出研究を変えたら大きく変化するので、もっと大括りで良いのでは。 評価結果 委員A ⑤ ○ △ 委員C ⑥ △ ○ 委員D △ ○ △ ○ 委員E ○ △ ○ <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>Δ</td></t<>											Δ
コメント				委員L							Δ
・土地取得以外は、算出根拠を変えたら大きく変化するので、もっと大括りで良いのでは。 委員A ② ○ △ 委員B ③ ○ △ 委員C ③ △ ○ 委員E ○ △ ○ 委員F △ ⑥ ○ 委員G ○ △ ○ 委員H ○ ○ △ ○ 委員J △ ○ ○ ○ ○ 委員K ○ ○ ○ ○ △ ○ ○ 本 ○<			7/2/1				沽用を図ることは大きなポイ	イントである。 			
要員A ③ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △ ○ ○ △ ○ <td></td> <td></td> <td>=</td> <td>メント</td> <td>・土地取得以外は、算出根</td> <td>ン・。 拠を変えたら大きく変化する</td> <td>るので、もっと大括りで良い</td> <td>1のでは。</td> <td></td> <td></td> <td></td>			=	メント	・土地取得以外は、算出根	ン・。 拠を変えたら大きく変化する	るので、もっと大括りで良い	1のでは。			
委員B ⑤ ○ △ ○ △ ○ △ ○ △ ○ ○ △ ○ <td></td> <td></td> <td colspan="2" rowspan="6">委員B 委員C 委員D 委員E</td> <td> </td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>\cap</td> <td>^</td>			委員B 委員C 委員D 委員E		 		1			\cap	^
要員C ⑤ △ ○ 委員E ○ △ ○ 委員F △ ⑥ ○ 委員G ○ △ ○ 委員H ○ ⑥ △ ○ 委員J △ ○ ○ ○ ○ ○ 委員J △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ △ ○ <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>											
要員D A O ⑥ A ⑥ 委員F A ⑥ A ⑥ 委員G O A ⑥ 委員H O ⑥ A 委員J A O O 委員J A O O 委員K ⑥ O A 委員L ⑥ O A									^		
要員E ○ <td></td> <td></td> <td>A</td> <td>^</td> <td></td> <td></td> <td>\triangle</td> <td></td> <td>1</td>					A	^			\triangle		1
評価結果 委員F △ ⑥ △ ⑥ 委員H ○ ⑥ △ ○ 委員J △ ○ ○ ○ 委員J △ ○ ○ ○ ○ 委員K ⑥ ○ ○ ○ △ 委員L ⑥ ○ ○ ○ △						U					_
評価結果 委員G O O A 委員H O O O 委員J A O O 委員K O O O 委員L O O O					1				Δ	1	<u> </u>
委員G O <td></td> <td>評価結</td> <td><u>1</u></td> <td></td> <td></td> <td>Δ</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td>		評価結	<u>1</u>			Δ	0			0	
委員 点 回 O 委員J A O O 委員K 回 O O 委員L O O O		o i iminili 🔨	-	委員G	0				Δ		0
委員J Δ O © O Δ 委員K © O Δ 委員L © O D D				委員H		0	0			Δ	
委員K © O 委員L ©				委員		Δ	0		0	<u> </u>	<u> </u>
委員K © O 委員L ©					Δ						
委員L ©										0	Δ
										1	
・候補地①は駅から遠い。候補地②は敷地が分断される。候補地③は不整形で拡張余地がなく、近隣住民の合意形成が課題。候補地④は計画地内に鉄塔が有る。候補地⑤は駅からも近いが、 JR沿線であり通過列車などの影響はどうか。候補地⑥はあまりに幹線道路に近い。候補地⑦は用地買収と文化財調査が課題だが、拡張性が評価できる。駅から近い。						<u> </u>				<u>I</u>	
UN海豚でめり迪廻列車なこの影響はこつか。 候網地じはめまりに軒線連路に近い。 候網地では用地真収と又化射調査が課題だが、 拡張性が評価できる。駅から近い。			=	メント	・候補地①は駅から遠い。	候補地②は敷地が分断される	る。候補地③は不整形で拡張	長余地がなく、近隣住民の合意 「保護地では男地帯でした。」	形成が課題。候補地争は	計画地内に鉄塔が有る。候	補地⑤は駅からも近いが、
					U口に豚にめり	_W彩音はCフか。	/はめみりに軒称退路に近い。 	。	が前直が味起にか、拡張!! 	ェル 評価 くるる。駅から近(/	10